

キッカケはけんちん汁

A lifestyle OneUP English School recommends



川辺は牛丼屋で昼食を掻き込んでいた。

最近では海外出張も増え、部下も増えてきた関係で仕事はどんどん増えてきているが、まだまだやりたい事も沢山あり、昼食などは手取り早い食事で済ませることが多い。

最近ではアジアへの出張が多く、英会話に加え、中国語も勉強している。日本にいる間は東京・大阪間を行き来しているので、東京本社と部下とのコミュニケーションが減り、その埋め合わせをするべく、夜は以前にも増して部下と飲みに行くようになった。事業は順調に動いているが、休みの日も英語や中国語のレッスンを受けているので、家庭の時間との折り合いをつける為には余程効率良く仕事をしなければならぬ。来週は上海出張か…。川辺はそんなことを考えながら味噌汁をすすった。

もともと川辺は英語が得意ではなかったが仕事での必要性を感じて語学を始めた。理系の大学を出たこともあり、語学からは疎遠だったが、仕事上の必要性があるとトコトンやってみようと思ったのは、川辺の性格上自然なことだった。最近では英語も中国語もめきめきと上達している。

英語と中国語を同時にやっていると、言語というものがより立体的に見える。文化的背景がわかっていないと理解出来ない事も多く、ここ最近では実際に海外に行っているからこそ分かる事もあり、中々奥が深いものだと感じていた。

しかしそれでもレッスンでは理解できない事も多く、この間も講師の説明では納得できずに

**“So what's the difference? I can't understand what you mean!
You should explain it more clearly because you are a native speaker!”**

と思わずレッスンプラスで怒鳴ってしまった。

性格上、理解の出来ない事が嫌で思わず大きな声を出してしまったのだが、その後は反省しきりであった。

店員 ですから本当にちょっとわからないです。すみません。

男 ちょっと。意地悪しないで教えてよ。

店員 いや、意地悪じゃなくて…。本当にわからないんですよ。お客さん。

男 あなた日本人でシヨ？けんちん汁って一体ナニ？それを聞いているんですよ。

店員 勘弁してください。お客さん。本当にわからないですよ。本当にすみません。

男 あなたワタシをガイジンだと思っでいい加減に答えてるでしょ。怒りますよ。けんちん汁って一体何かを聞いているんですよがっ！アナタ本当に日本じ…

店員 らっしやいませ！ はい1名様あ！ どうぞカウンターの方へ！

男 なっ！ 話は終わってないじゃないの！ アナタさっきから誤魔化してばかり…。

店員 はい並一丁オ！ おあとビール一オっ！

男 コラッ！ 無視はやめなさいっ！けんちんくらいで、無視は無いですよがっ！ だいたいアナタね…

というところで、川辺は店を出た。

以来、川辺の講師への質問の仕方はとてもやさしくなったという。

川辺は最後の一口を豪快に頬張り、店員にお会計をお願いしたその時、ふと隣を見ると男が座っていた。

それまで気付かなかったが、同じく豪快に牛丼を掻き込むスーツ姿の男は日本人ではないらしい。どうやらアジア系の外国人である。川辺は仕事でアジア諸国を渡り歩くようになってから、以前よりも日本人であるかそうでないかを無意識に敏感に感じるようになった。急いで牛丼を食べるそのビジネススマンを見て、彼も国際社会で戦っているな、と思いつつ川辺は男に親近感を持った。

そのアジア系のビジネススマンは、黙々と牛丼食べていたが、壁に掛かっているメニューを見がらおもむろに店員に話しかけた。

男 チョトすみません。

店員 はい。お客様。何でしょう？

男 味噌汁はミソが入っていますよね。

店員 はい。

男 豚汁は豚肉が入っていますよね。

店員 はい…。それが何か。

男 けんちん汁のけんちん汁って一体何ですか？

店員 けんちん汁ですか？

男 はい。けんちん。

店員 うーん。ちょっとすみません。けんちん汁って一体、何でしょうかねー。わからないです。

男 うーん。ダカラー。味噌汁は味噌。豚汁は豚。けんちん汁のけんちん汁って一体何なんですか？